令和８年度　学校関係者評価結果報告書

１．基本情報

・ 学校名：甲府情報ＩＴクリエイター専門学校

・ 設置課程・学科：

- 工業専門課程　情報処理学科
- 工業専門課程　クリエイター学科

・ 作成日：令和８年８月６日

・ 作成者：甲府情報ＩＴクリエイター専門学校　学校関係者評価委員会

２．評価の基本方針と目的

本委員会は、学校が実施した自己点検・評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、教育活動の改善に向けた助言を得ることを目的としています。特に、職業実践専門課程として、産業界や地域社会と連携した教育の質保証・向上に資する評価を行います。

３．学校関係者評価委員会の構成

職業実践専門課程の趣旨に鑑み、以下の多様な関係者により構成されています。

氏名	所属・役職	属性（企業、卒業生、保護者等）
井上　卓己	井上卓己税理士事務所　所長	企業等
佐藤　英雄	株式会社ネオシステム　業務管理本部人事総務部長	企業等
厚芝　徹	医療法人恵信会　法人本部人事部副部長	企業等
篠原　英雄	障害者支援施設もえぎ寮　寮長	企業等
安富　誉訓	国母保育園　園長	企業等
住吉　寿夫	住吉寿夫司法書士・行政書士事務所　所長	企業等
柄沢　眞	富水自治会　代表	近隣住民等
石渡　もと子	ベルクラシック甲府　マーケティング部チーフ	近隣住民等
中山　芳江	つくし保育園　保育士	卒業生

４．開催実績

・ 日時：令和８年８月４日

・ 内容：自己点検・評価報告書に基づく自己評価報告。自己評価報告に対する意見収集。

５．評価結果の詳細

学校が実施した「自己点検評価報告書」に基づき、各項目の適切性を評価した結果を、以下に示す。

評価項目（大項目）	学校の自己評価概要	委員会による評価・意見	学校の対応・改善策
【項目１】 教育理念・目的・目標	教育理念・目的・育成人材像を明文化し周知。運営体制を整備し検証・改善に取り組んでいる。（評価２）	教育理念や目標は明確に周知されている。情報・クリエイター分野の技術動向への対応に期待したい。	技術動向を継続的に調査・分析し、教育内容へ迅速に反映する体制を整える。
【項目２】 教育課程、教育の実施、学修成果	教育課程編成方針を明文化し公表。実習・成果発表会を実施し、認定は令和９年度申請予定。（評価２）	生成 AI の普及で採用ニーズが変化しており、AI を使いこなせる人材育成が重要との意見があった。	生成 AI 等の活用スキルを取り入れた授業内容の充実を検討する。
【項目３】 学生支援・進路指導	入学者受入方針や修学支援体制を整備し、担任制度により多様な学生を個別に支援している。（評価２）	学生募集や修学支援は手厚く行われている。少子化が進む中、更なる魅力発信に期待したい。	学校の特色や教育成果の情報発信を強化し、志願者確保に努める。
【項目４】 教育実施組織・教員	採用基準や組織体制を整備し、研修等を通じて教員の資質向上に取り組んでいる。（評価２）	専門性の高い教員確保は引き続き課題。技術系分野の研修機会拡充にも期待したい。	技術系研修への参加機会を広げ、専門性を有する教員の確保に努める。
【項目５】 教育環境	施設・設備の適切な維持管理と実習設備の更新を行い、防災体制も整備している。（評価３）	実習設備の計画的な更新は評価できる。防災体制の継続的な見直しにも期待したい。	設備更新計画と合わせ、防災マニュアルの定期的な見直しを行う。
【項目６】 教育活動の基盤と改善・向上の取組	中期計画・財務基盤が安定し、意思決定システムや情報公表体制も整備されている。（評価３）	財務基盤や運営体制は安定している。学園ホームページの情報の見やすさ向上に期待したい。	ホームページの構成は学園本部と意見交換を行い、

６．総合所見および改善計画・今後の展望

【委員会からの総合所見】

本年度の学校運営は、教育理念の周知や生成 AI をはじめとする技術動向への対応、実習設備の計画的な更新などにおいて、概ね適切に行われていると評価します。特に、変化の速い情報・クリエイター分野の動向を踏まえた運営については高く評価できます。一方で、生成 AI を活用した教育内容の充実、専門性の高い技術系教員の確保、防災体制の継続的な見直しについては、次年度に向けた具体的な改善計画の策定と実行を求めます。

【学校の改善計画・今後の展望】

本委員会の評価結果を真摯に受け止め、以下の通り改善に取り組みます。

1．AI 活用教育の推進：生成 AI 等の活用スキルを取り入れた授業内容の充実を検討します。

2．技術系教員の確保：技術系研修への参加機会を広げ、専門性を有する教員の確保に努めます。

3．防災体制の強化：設備更新計画とあわせ、防災マニュアルの定期的な見直しを行います。

以上